

1. 件名：  
日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の防災訓練実施結果報告書（案）の説明について
2. 日時：  
令和4年5月17日（火）13時30分～15時00分
3. 場所：  
茨城県原子力オフサイトセンター 原子力防災専門官事務室
4. 出席者：  
原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所  
関谷原子力防災専門官、高尾上席放射線防災専門官  
日本原子力研究開発機構原子力科学研究所  
技術副主幹
5. 要旨  
日本原子力研究開発機構原子力科学研究所より、防災訓練実施結果報告書（案）の説明を受けた。  
主な内容は、以下のとおり。
  - （1）訓練実施日  
令和4年3月8日（火）
  - （2）主な検証項目と達成目標
    - ・複数の施設で事象が発生する状況への対応
    - ・前年度から改善を図った事項の有効性確認  
（特に、ERCと機構対策本部間での情報共有）
  - （3）訓練想定
    - ・運転中の試験研究炉（JRR-3）及び廃棄処理施設において、原災法第10条及び第15条に該当する事象が発生し、これへの対応
  - （4）主な訓練成果
    - ・複数施設で発生した事象に対し弁別した適切な対応がとれた。また、FAXによる関連機関への報告も短時間に完了する等、今年度の課題とした事項は改善できた。

原子力規制庁からは、事故対策（「事故進展対策シート」）についての一例を示し、事故対策の立案と報告に関し、更なる向上を図るよう助言した。

（例：①複数の対策の立案（第一の矢、第二の矢）、②各対策の大まかな業務（例：人員・資機材の準備、作業開始、作業終了等）とその予定時刻、③進捗状況をフォローアップしての実時刻の記入、④進捗状況を考慮しての次策（第二の矢、第三の矢）への着手）

6. その他  
配布資料なし。